

# 四谷大塚（12/13実施）合不合判定テスト 全国最多の20,560名が受験 「中学入試 本番へ」 2010年中学入試 最新動向レポート

中学受験の四谷大塚(本社:東京都中野区)が、12月13日(日)、『(第4回)合不合判定テスト』を実施。受験者数は、12月に実施された中学入試の模擬試験としては全国最多となる20,560名でした。

合不合判定テストは、小学6年生を対象に四谷大塚が年6回実施する、国立・私立中学校の志望校判定を行う全国レベルの公開テストです。特に難関中学を目指す受験生には必須のテストとなっており、今年度の入試では、開成中学合格者の67.9%、桜蔭中学合格者の73.5%が当テストの受験生でした。

今年度最終回を迎えましたが、受験勉強の成果と現時点での学力を確認し、入試に向けての最終チェックとして、また未来に向けての第一歩として、多くの受験生が真剣なまなざしでこのテストに取り組みました。9月から12月までの4回実施した「合不合判定テスト」は3年連続で毎回20,000名を超える受験生を集め、中学受験に対する意識の高さを反映した結果と見ています。

## ■背景にある社会情勢

物価下落の最大の要因は、昨年秋の「リーマン・ショック」による世界的な需要の落ち込みですが、主要国で深刻なデフレに陥ったのは日本だけです。国際通貨基金(IMF)の試算では、実際の需要と潜在的な供給力の差を示す「需給ギャップ」は日本がマイナス7%で、米欧は同3~4%台。日本は少子高齢化で慢性的に内需が弱含みであり、日本の物価を「食料とエネルギーを除く総合指数」で見ると、1998年からほぼ一貫してマイナス基調が続き、10年越しのデフレ状態にあるといえます。

今春の首都圏における中学入試実受験者は54,000名、実受験率17.8%と何れも過去最高を記録しました。これは、先の見えない深刻な経済情勢であるからこそ、保護者及び受験生は、改めて「教育」の重要性を強く認識し、長いお子様の人生を考えたとあって、「より学校を厳選する」=「受験生にとって最良の教育環境を厳選する」という流れは来年以降も継続していくと分析しております。

## ■中学入試スタート

首都圏では、埼玉県が1月10日(日)、千葉県が1月20日(水)を中学入試の解禁日に設定しており、1月10日以降、本格的な入試に突入します。東京都、神奈川県は2月1日(月)が解禁日です。それに先立って、茨城県の一部の学校や帰国生募集、推薦入試や第一志望入試などではすでに入試がはじまっています。

たとえば12月1日(火)に行われた千葉県の昭和学院秀英中学校の第一志望入試においては、定員40名に対して、応募者723名、受験者718名、合格者40名、実質倍率18.0倍と多くの受験生を集めました。また、12月12日(土)に行われた県立千葉中学校の一次検査には、定員80名に対して、志願者1,172名、受験者1,161名、受験倍率14.5倍となっており、12月24日(木)に一次検査の結果が発表される予定です。

## 2010年入試に向かって

### ① 志望者を多く集めた中学校は、男子：芝(2回)、女子：浦和明の星女子

志望校として多くの受験生を集めた中学校は9月～12月今年度実施の4回とも、男子では芝(2回)、女子では浦和明の星女子となりました。

志望者数の最上位には入学試験日が集中する2月1日(月)～3日(水)よりも、1月や2月4日(木)以降に実施される試験が毎回入ります。志望者数全体は併願者を含みます。よって比較的試験の集中しない有力校にエントリーが集中する傾向があるためです。別の観点から見ると、2月1日や2月2日で志望者上位に入ってくる試験は、多くの受験生に支持されているといえます。

実際の入試においても1月入学試験は合格者に対して入学者が少ない傾向(2月1日を第一志望とし、合格した場合入学は見送る)がみられ、後半日程の入学試験は出願者数に対して実受験者数が減る傾向(2月1日を第一志望とし、合格した場合その後の受験を見送る)が特徴となっています。

《表 1:男子 志望者数ベスト 10 (試験回)》

	学校名	入試 教科	入学 試験日	今回テストでの 志望者数	昨年12月の 志望者数	増減	昨年比
1	芝2	4	2月4日	1,316	1,348	▲ 32	97.6%
2	立教新座	4	1月25日	1,231	1,348	▲ 117	91.3%
3	市川	4	1月20日	1,122	1,154	▲ 32	97.2%
4	浅野	4	2月3日	1,082	1,143	▲ 61	94.7%
5	渋谷教育幕張	4	1月22日	810	899	▲ 89	90.1%
6	開成	4	2月1日	792	808	▲ 16	98.0%
7	東邦大東邦(前)	4	1月21日	772	733	39	105.3%
8	本郷3	4	2月5日	733	771	▲ 38	95.1%
9	慶應中等部	4	2月3日	665	579	86	114.9%
10	成城2	4	2月3日	658	634	24	103.8%

《表 2:女子 志望者ベスト 10 (試験回)》

	学校名	入試 教科	入学 試験日	今回テストでの 志望者数	昨年12月の 志望者数	増減	昨年比
1	浦和明の星女子	4	1月14日	1,095	1,167	▲ 72	93.8%
2	頌栄女子学院2	4	2月5日	854	877	▲ 23	97.4%
3	豊島岡女子学園	4	2月2日	688	594	94	115.8%
4	洗足学園3	4	2月5日	604	478	126	126.4%
5	市川	4	1月20日	573	622	▲ 49	92.1%
6	女子学院	4	2月1日	556	873	▲ 317	63.7%
7	淑徳与野	4	1月13日	548	420	128	130.5%
8	青山学院	4	2月2日	466	380	86	122.6%
9	桜蔭	4	2月1日	441	559	▲ 118	78.9%
10	豊島岡女子学園2	4	2月3日	430	377	53	114.1%

### ■サンデー・ショックからの回帰状況

2009年入試においては、女子学院、フェリス女学院、立教女学院、東洋英和女学院(A)など女子プロテスタント系の学校を中心に試験日変更がありました。来年の2010年は従来日程に戻ります。

試験日程の変更により、併願パターンがサンデー・ショック時の「2月1日桜蔭・2月2日女子学院」より「2月1日桜蔭・2月2日豊島岡女子学園」に戻っています。

## ② 第一志望者を多く集めた中学校は、男子：開成、女子：女子学院

第一志望校は受験生にとって「あこがれ」で、学習に取り組むモチベーションを高める存在です。ランキング形式で見たときに、回を重ねても学校が大きく変わらないことも第一志望校の特徴です。

《表 3:男子 第一志望者ベスト 10 (試験回)》

	学校名	入試 教科	入学 試験日	今回テストでの 第一志望者数	昨年12月の 第一志望者数	増減	昨年比
1	開成	4	2月1日	511	534	▲ 23	95.7%
2	早稲田	4	2月1日	469	563	▲ 94	83.3%
3	麻布	4	2月1日	440	477	▲ 37	92.2%
4	駒場東邦	4	2月1日	368	402	▲ 34	91.5%
4	武蔵	4	2月1日	368	358	10	102.8%
6	慶應普通部	4	2月1日	357	437	▲ 80	81.7%
7	芝	4	2月1日	334	341	▲ 7	97.9%
8	浅野	4	2月3日	297	273	24	108.8%
9	筑波大駒場	4	2月3日	294	253	41	116.2%
10	早大学院	4	2月1日	269	2010年開校		
11	桐朋	4	2月1日	258	329	▲ 71	78.4%
12	早稲田実業	4	2月1日	254	282	▲ 28	90.1%
13	海城	4	2月1日	243	346	▲ 103	70.2%

### ■2010年開校 早稲田大学高等学院中学部の影響

早稲田大学高等学院中学部参入の影響が表3からは読み取れます。今回はじめてベスト10に入ったことから注目の高まりが分かります。同じ日程に入学試験日を構える早稲田、早稲田実業においては、当初は早稲田大学高等学院中学部の開校発表がされた後も第一志望者の増加傾向が見られていましたが、10月以降の合不合格判定テストでは昨年比減少傾向で、特に今回は大きく数字として表れ、それぞれ16.7%減少、9.9%減少となっています。

また、海城(昨年比 70.2%)、桐朋(昨年比 78.4%)と男子難関進学校から「早稲田大学高等学院中学部」への影響は継続して出ています。

第一志望校の顔ぶれに大きな変化はありませんが、上位に名前が挙がる学校においては第一志望者総数が昨年比で減少傾向にあり、多くの学校に分散してきています。それは、近年の入試状況、経済状況を鑑みた結果、2月1日に確実に合格を取りたいという安全志向と様々な角度から厳選し、本当にお子様にあった学校を選択された結果の表れだと分析しております。

《表 4:女子 第一志望者ベスト 10 (試験回)》

	学校名	入試 教科	入学 試験日	今回テストでの 第一志望者数	昨年12月の 第一志望者数	増減	昨年比
1	女子学院	4	2月1日	444	508	▲ 64	87.4%
2	桜蔭	4	2月1日	363	417	▲ 54	87.1%
3	立教女学院	4	2月1日	231	240	▲ 9	96.3%
4	豊島岡女子学園	4	2月2日	228	293	▲ 65	77.8%
5	雙葉	4	2月1日	224	268	▲ 44	83.6%
6	青山学院	4	2月2日	211	225	▲ 14	93.8%
7	香蘭女学校	2・4	2月1日	197	185	12	106.5%
8	フェリス女学院	4	2月1日	187	197	▲ 10	94.9%
9	吉祥女子	4	2月1日	173	130	43	133.1%
10	共立女子A	4	2月1日	154	142	12	108.5%

\*香蘭女学校の入試教科は、2教科または4教科選択です。

### ③ 2010年注目の新設校の状況

前述の早稲田高等学院中学部は志望者数 315 名(うち第一志望 269 名)を集めています。

同じく、有力大学の附属校として開校予定の中央大学附属は 1 回(2 月 1 日)が 206 名(男子 104 名、女子 102 名)、2 回(2 月 4 日)が 587 名(男子 326 名、女子 261 名)とこちらも多くの志望者を集めており、注目の高さが伺えます。

#### ●(新設)早稲田高等学院中学部・中央大学附属 合不合志望者推移

学校名	9月実施	10月実施	11月実施	今回
早稲田高等学院	268	295	298	315
中央大附属 1	220	240	249	206
中央大附属 2	571	645	677	587

また、新たに都立の中高一貫校が 4 校新設(いずれも一般受検日は 2 月 3 日)されますが、富士高附属(中野地区)29 名(男子 15 名、女子 14 名)、大泉高附属(練馬地区)45 名(男子 26 名、女子 19 名)、南多摩中等教育学校(八王子地区)26 名(男子 9 名、女子 17 名)、三鷹中等教育学校(三鷹地区)57 名(男子 32 名、女子 25 名)という志望者状況です。

#### ●(新設)都立中高一貫校 合不合志望者数推移

学校名	9月実施	10月実施	11月実施	今回
富士高附属	31	29	28	29
大泉高附属	31	34	42	45
南多摩中等教育	20	27	27	26
三鷹中等教育	35	41	43	57

### 参考データ 1:

2009 年首都圏(小学 6 年生)児童数 303,284 名の 17.8%にあたる 54,000 人が中学受験に臨みました。中学受験率・中学受験者数いずれも過去最高を更新しました。

全国的には少子化の流れですが、東京を中心に、都心回帰による人口流入が続いており、現 6 年生は 303,493 名(前年比 209 増加・0.1%増加)と微増しています。

### 参考データ 2:

#### ■三大模試の受験者数推移

2008年		四谷大塚		日能研		首都圏模試		合計	
実施月	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比	
4月	14,026	115.4%	12,784	100.9%	11,126	109.0%	37,936	108.3%	
7月	15,470	106.3%	14,078	95.3%	14,183	100.2%	43,731	100.6%	
9月	20,173	99.7%	14,918	101.2%	16,096	97.0%	51,187	99.3%	
10月	20,869	103.2%	15,409	94.1%	16,647	95.0%	52,925	97.8%	
11月	21,838	100.7%	15,435	102.5%	17,832	105.3%	55,105	102.7%	
12月	21,104	102.5%	15,296	94.7%	17,522	97.0%	53,922	98.4%	
合計	113,480	103.7%	87,920	98.0%	93,406	99.9%	294,806	100.7%	

  

2009年		四谷大塚		日能研		首都圏模試		合計	
実施月	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比	
4月	13,607	97.0%	11,968	93.6%	10,431	93.8%	36,006	94.9%	
7月	15,323	99.0%	13,213	93.9%	13,026	91.8%	41,562	95.0%	
9月	20,140	99.8%	14,378	96.4%	15,006	93.2%	49,524	96.8%	
10月	20,155	96.6%	12,811	83.1%	15,057	90.4%	48,023	90.7%	
11月	21,925	100.4%	14,183	91.9%	16,400	92.0%	52,508	95.3%	
12月	20,560	97.4%	14,160	92.6%	15,826	90.3%	50,546	93.7%	
合計	111,710	98.4%	80,713	91.8%	85,746	91.8%	278,169	94.4%	

12/13 実施(第4回)合不合格判定テストの  
80 偏差値及び 50 偏差値は、下記をご参照ください。  
偏差値一覧以外にも、合不合格判定テスト、保護者説明会(詳細)のほか、  
中学受験動向等資料は、ホームページからご覧になれます。

[四谷大塚 公式ホームページ](#) [四谷大塚ドットコム](#)

※下記をクリックするとファイルが開きます  
【12/13 実施 合不合格判定テスト(第4回) 80/50偏差値一覧】  
【男子】[80 偏差値](#) / [50 偏差値](#)  
【女子】[80 偏差値](#) / [50 偏差値](#)

#### ■株式会社ナガセについて■

1976 年創立。大学受験向け予備校の東進ハイスクール(首都圏を中心に 88 の直営校)や、全国 47 都道府県に 800 校舎を配す東進衛星予備校(フランチャイズ契約)を展開。質の高い授業と独自の学習システムによって、東大現役合格 445 名(2009 年実績)など高い合格実績を実現し、現在では約 10 万人の現役高校生が通う、日本最大規模の予備校となっています。2006 年 10 月から四谷大塚(中学受験)、2008 年 2 月よりイトマンスイミングスクールをグループ化するほか、大学生・社会人を対象に東進ビジネススクールを開講。

また、2010 年 10 月より「セサミストリート」の教材を使用した幼児・児童向け英語教室「東進こども英語塾」の開設を予定しており、「社会に貢献する人財を育てる」を教育目標とした幼小中高大一貫教育サービスを展開しています。

#### ■四谷大塚について■

1954 年創立。首都圏を中心に、多数の合格者を有名中学に送り出している学習塾。中学受験最強の教科書“予習シリーズ”、全国最大となる 2 万人を超える受験生が競う“合不合格判定テスト”、首都圏の直営 19 校舎(2009 年 7 月に大宮校舎・11 月に豊洲校舎が開校)での質の高い“レベル別指導”、そして豊富な“教育情報”を提供しています。

また、首都圏で定評のあった「四谷大塚」のノウハウを活かして、日本全国の有力塾や東進衛星予備校の加盟校との新ネットワーク「四谷大塚NET」のサービスを、2008 年 2 月から開始しています。

---

#### <本件に関するマスコミの方のお問い合わせ先>

株式会社ナガセ 広報部:市村、加藤

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町 1-29-2

電話 0422-44-9001 FAX0422-44-9129

ホームページ[www.yotsuyaotsuka.com](http://www.yotsuyaotsuka.com) E-mail [pub@toshin.ac.jp](mailto:pub@toshin.ac.jp)